

問い合わせ先

第八管区海上保安本部海洋情報部

海洋調査課長 吉岡 真一（よしおか しんいち）

TEL 0773-75-7373（直通）

TEL 0773-76-4100（内線2530）



第八管区海上保安本部

平成24年5月28日

離岸流を調査します

～海水浴を安全に楽しんでいただくために～

八管本部管内の山陰から丹後・若狭湾に至る海岸では、遊泳者が陸側から沖へ突然流されるという事故が度々発生しています。これは、離岸流が原因と推測されています。

八管本部では、海水浴を安全に楽しんでいただくため、本年も下記のとおり離岸流の調査を行い、離岸流に関するデータを収集するほか、離岸流が発生しやすい状況や離岸流で流されたときの対処法についてホームページに掲載するなど周知啓発を行い、海浜事故防止に役立てていきます。

記

1 場所（付図1参照）

京都府京丹後市

琴引浜遊（あそび）海水浴場

2 期間

6月27日（水）・28日（木）（2日間）

3 調査方法（付図2参照）

前記海水浴場内において、「シーマーカー」及び「漂流ブイ」を投入して海水の流れを追跡調査するとともに、航走観測により海水浴場内の流況を調査します。

また、美保航空基地所属ヘリコプターにより、上空からシーマーカー投入後の拡散状況を確認します。

4 取材について

現場海岸での取材が可能です。

取材を希望される社は、6月26日（火）午後4時までに下記連絡先へご連絡ください。

5 写真の提供について

調査終了後（6月29日（金）以降）、調査状況を撮影した写真が提供できます。

希望される社は、下記連絡先までお申し込み下さい。

【取材及び写真の提供に関する連絡先】

第八管区海上保安本部

総務課 広報・地域連絡室（担当 川野）

TEL 0773-76-4100（内線 2117）

FAX 0773-76-4103

「参考」

○ 離岸流発生の仕組み

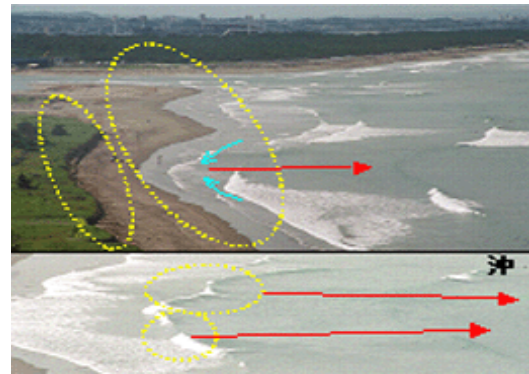
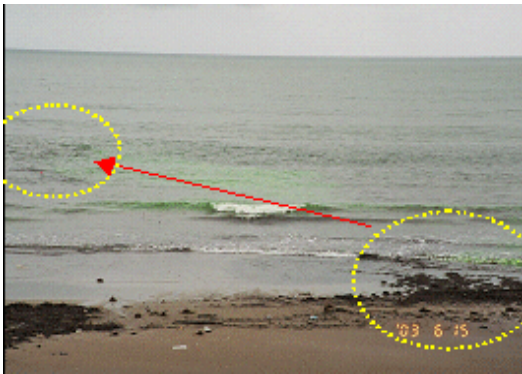
海岸に向かって強い風が長く吹くと、海の水は波によって沖から海岸に打ち寄せられ、水はどんどん岸に貯まってしまい、岸から沖に向かう流れが発生する。

○ 離岸流からの脱出方法

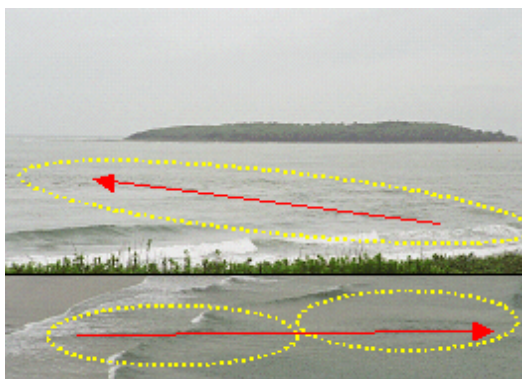
落ち着いて、岸と平行に泳ぎ、抜け出た後に岸に向かって泳ぐ。

○ 離岸流の見分け方

- ・ 海岸にゴミが集まっている場所
- ・ 波が周りに比べて変形している場所

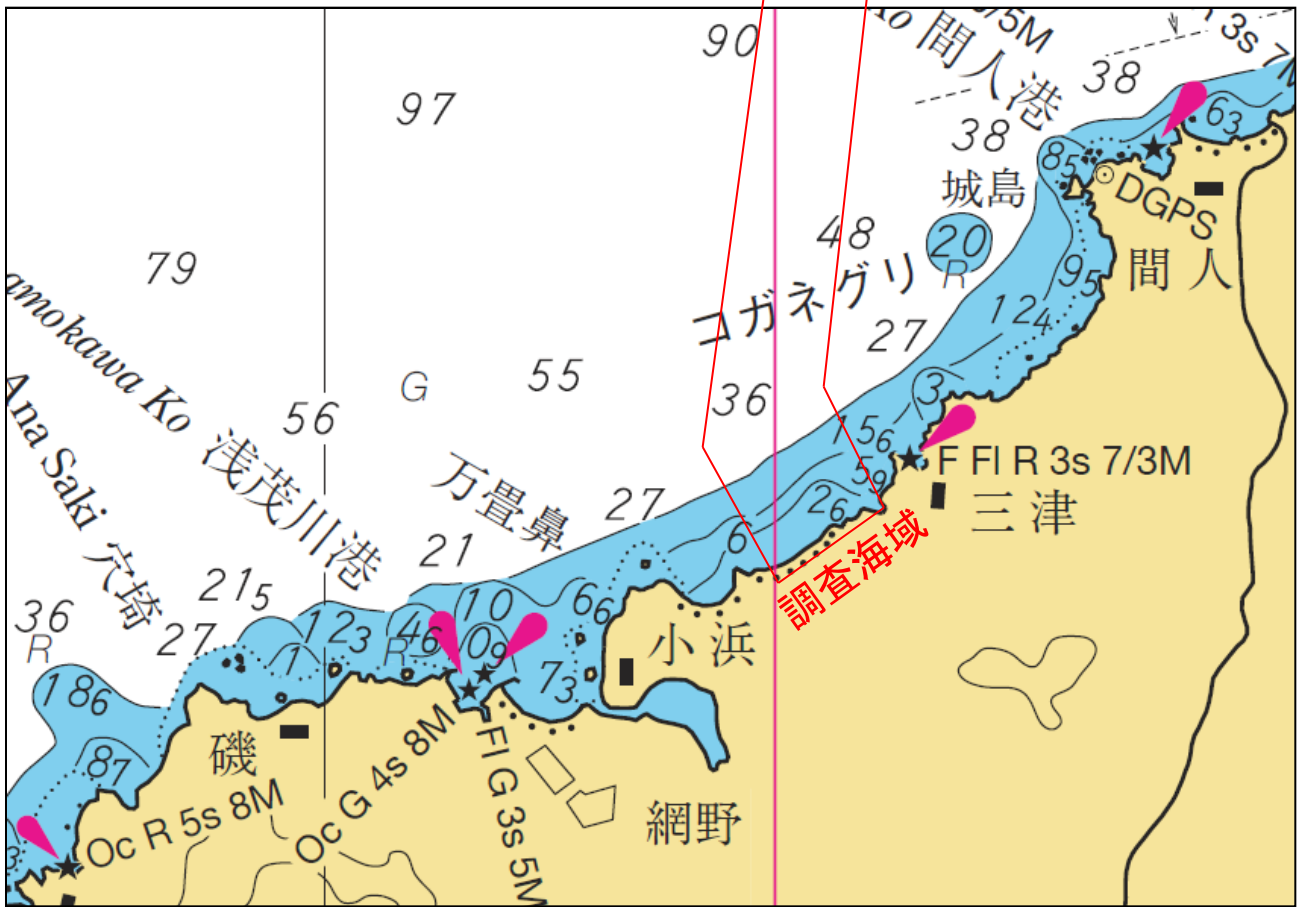
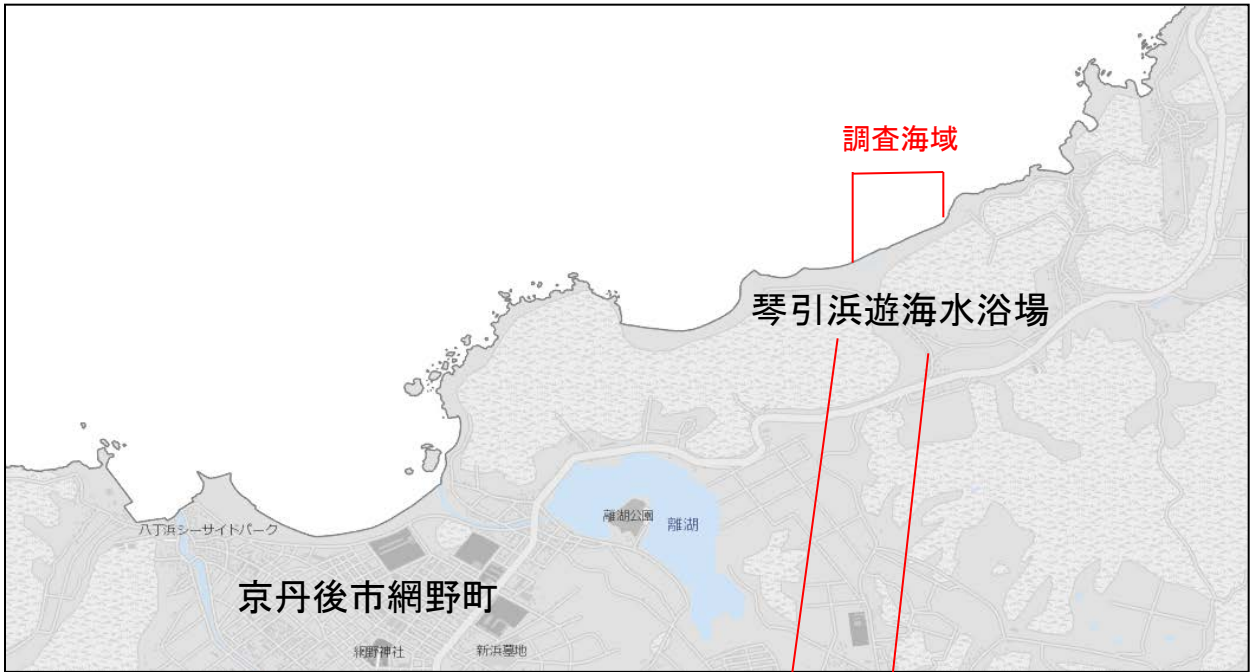


- ・ 波が周りに比べてざわついている場所



詳細は海上保安庁ホームページのマリンレジャー 離岸流 を参照してください。

http://www1.kaiho.mlit.go.jp/JODC/marine/umi/rip_current.html

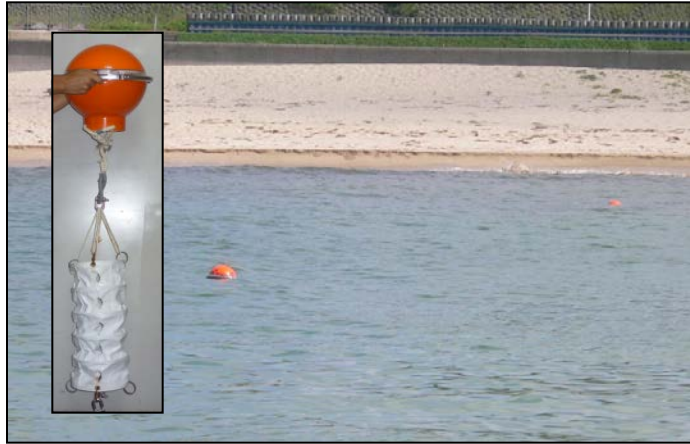


1. シーマーカー調査



水溶性の染料で一時的に海水を着色させ海水の動きを可視化します。

2. 漂流ブイ調査



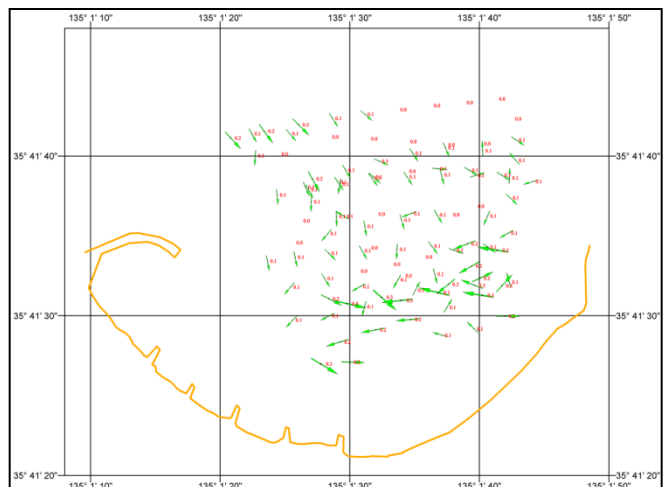
GPSにより位置、時刻を測定します。

3. 流速計を用いた航走観測

データ処理後



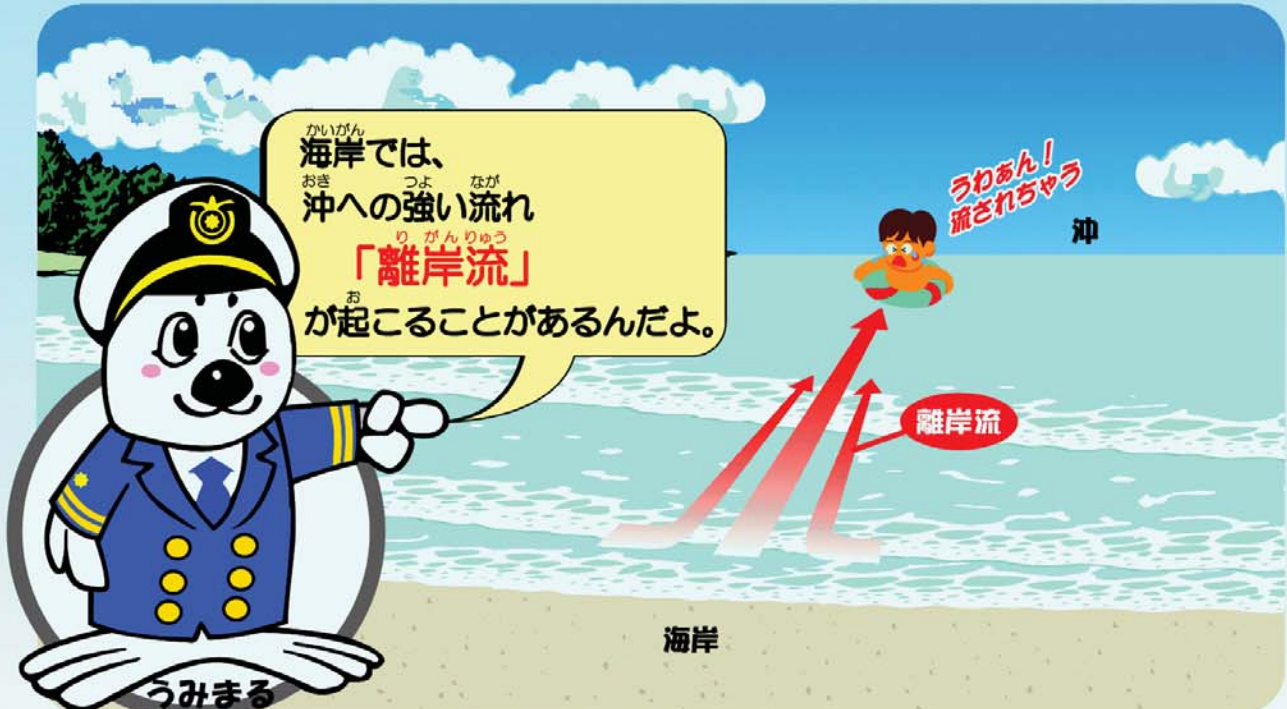
流速計



超音波により流速と流向を連続して測定します。

気が付いたら、どんどん海岸から遠ざかっていた。。。 こんな時どうする？

山陰～丹後・若狭湾に至る海岸での注意だよ！



沖にながされたときの脱出方法



～疲れている時は無理して泳がないでね。ちょっとした流れでも事故のもと！～